
2014年度

決算概要



2015年 5月14日

2014年度 通期連結業績

(単位:億円)

	2013年度	2014年度	前年比増減 (伸び率)	
売上高	6,413	6,605	+193	(103.0%)
営業利益	351	361	+10	(103.0%)
(営業外損益)	(12)	(20)	+8	(168.9%)
経常利益	363	382	+19	(105.2%)
(特別損益)	(▲11)	(▲13)	▲2	(119.6%)
当期純利益	192	207	+15	(107.7%)

2014年度 通期業績指標

(単位: 億円)

	2013年度	2014年度	前年比増減 (伸び率)
有利子負債	1,555	1,549	▲6 (99.6%)
自己資本	2,035	2,264	+229 (111.2%)
総資産	5,281	5,476	+196 (103.7%)

経常利益率	5.7%	5.8%
ROE	9.9%	9.6%
EPS	98.32円	105.75円
自己資本比率	38.5%	41.3%

2014年度 セグメント別売上高・経常利益

(単位: 億円)

		2013年度	2014年度	前年比	主な売上高・利益増減要因
産業ガス関連	売上高	1,892	2,031	107%	<ul style="list-style-type: none"> ●国内の旺盛な需要が続く高炉向けオンサイトが順調 ●化学、エレクトロニクス、造船等で操業度が向上し、産業ガスの数量は緩やかながら着実に回復 ●電気料金の値上げほかコストアップ要因が大きく、厳しい事業環境継続
	経常利益	131	127	97%	
ケミカル関連	売上高	952	1,026	108%	<ul style="list-style-type: none"> ●コークス炉ガス処理量は持ち直すも、粗ベンゼンが数量・価格とも低下 ●ファインケミカルは原料調達の合理化や海外拠点への集約が進捗
	経常利益	29	25	88%	
医療関連	売上高	1,200	1,183	99%	<ul style="list-style-type: none"> ●医療用酸素が新規病院獲得等による数量確保 ●設備工事の一時的な市場停滞、医療機器販売は増税による反動減 ●医療サービスは受託滅菌の受注拡大、在宅医療はレンタル堅調
	経常利益	76	76	100%	
エネルギー関連	売上高	573	528	92%	<ul style="list-style-type: none"> ●LPガスは、原油価格急落影響など厳しい環境続くも民生増客、工業用燃転、省エネシステム提案等により、数量確保
	経常利益	32	32	98%	
農業・食品関連	売上高	717	714	100%	<ul style="list-style-type: none"> ●ハム・デリカは原料高、為替影響を値上げや拡販でカバー ●飲料事業が増税反動減、需要期の低温影響で需要低迷 ●農産・加工事業が、天候不順による原料野菜の悪化
	経常利益	26	21	82%	
その他	売上高	1,080	1,122	104%	<ul style="list-style-type: none"> ●塩事業は、独自性の高い製品販売、コスト合理化等で順調 ●マグネシア事業は高級電磁鋼板用ならびにヒーター用マグネシア増販 ●物流事業は荷扱い量増加、軽油安ならびに特殊車両製造の受注拡大
	経常利益	71	80	112%	
(調整額)	経常利益	▲2	20	-	
合計	売上高	6,413	6,605	103%	
	経常利益	363	382	105%	

* 調整額：各セグメントに帰属しない一般管理費等

<産業ガス関連セグメント>

（単位：億円）

	2013年度	2014年度	前年比	主な売上高増減要因
ガス	1,256	1,287	102%	<ul style="list-style-type: none"> ●高炉オンサイト酸素供給数量は高水準を継続 ●化学、エレクトロニクス、造船等でエアセパ中心にガス供給回復 ●半導体向けバルクガスならびに太陽電池向け特殊ガスの数量回復
機器・工事	312	394	126%	<ul style="list-style-type: none"> ●大型プラント工事やLNG関連工事が増加
情報電子材料	324	350	108%	<ul style="list-style-type: none"> ●半導体・電子材料分野で国内販売増加
計	1,892	2,031	107%	—

<ケミカル関連セグメント>

（単位：億円）

	2013年度	2014年度	前年比	主な売上高増減要因
コールケミカル	861	923	107%	<ul style="list-style-type: none"> ●ガス精製は、コークス炉ガス処理量が持ち直し ●粗ベンゼンが原油価格下落等により数量、価格とも低下
ファインケミカル	90	103	114%	<ul style="list-style-type: none"> ●精密化学品はキノリン増販、原料調達見直しによる収益改善 ●機能化学品は製造拠点の海外集約による構造改革が進展
計	952	1,026	108%	—

シーケム(持分益)	5	0	—	<ul style="list-style-type: none"> ●ニードルコークスは原油価格下落と市況悪化
-----------	---	---	---	---

2014年度 セグメント別業績内訳（医療、エネルギー）

<医療関連セグメント>

（単位：億円）

	2013年度	2014年度	前年同期比	主な売上高増減要因
医療ガス	92	93	100%	●医療用酸素は、新規病院獲得等により数量確保
設備	305	285	93%	●病院の手術室・ICUへの投資意欲は高いものの、国内市場が一時停滞 ●大型病院をターゲットに、新たな戦略的営業を開始
医療サービス	466	474	102%	●SPDは、施設数増加 ●受託滅菌は、新規顧客獲得による増販
医療機器	38	37	99%	●消費税増税反動減で、医療機器が販売減少 ●ガス性医薬品アイノフローが順調に増加
在宅医療	85	89	105%	●酸素濃縮器レンタル数ならびにCPAP（睡眠時無呼吸症候群治療器）台数増加
その他	215	205	96%	●歯科領域など、新規連結分野の販売堅調
計	1,200	1,183	99%	—

<エネルギー関連セグメント>

（単位：億円）

	2013年度	2014年度	前年比	主な売上高増減要因
LPガス	536	485	90%	●新規顧客獲得、燃料転換推進、ハイブリッド給湯暖房システム拡販等により、販売数量が増加するも原油価格急落に伴う単価下落により、減収。
天然ガス関連ほか	37	43	118%	●LNGタンクコンテナ等の販売台数が増加
計	573	528	92%	—

2014年度 セグメント別業績内訳（農業・食品、その他）

<農業・食品関連セグメント>

（単位：億円）

	2013年度	2014年度	前年比	主な売上高増減要因
食 品 関 連	158	158	100%	●ハム・デリカは販売拡大により堅調に推移
農 業 関 連	558	556	100%	●飲料事業は、消費増税の反動減、需要期の低温影響から販売減少 ●農産・加工事業は、悪天候による原料野菜の悪化 ●林屋が第3四半期から新規連結
計	717	714	100%	—

<その他セグメント>

（単位：億円）

	2013年度	2014年度	前年比	主な売上高増減要因
日 本 海 水	222	238	107%	●塩事業が拡販により数量増加、環境事業が吸着剤など環境製品の拡販
タ テ ホ 化 学	76	91	120%	●高級電磁鋼板用ならびにヒーター用マグネシア販売増加
海 水	298	329	111%	—
物 流	375	388	103%	●製材、飼料等の輸送拡大、特殊車両製造のトラック架装車両受注拡大
そ の 他	406	405	100%	●国内景気回復に伴いリング販売増加、エアゾル（塗料・家庭用品向）販売増
計	1,080	1,122	104%	—

設備投資・減価償却費

(単位:百万円)

	2013年度	2014年度	増減
設備投資	32,348	32,028	▲321
減価償却費	24,337	25,222	885

2015年度 通期連結業績(予想)

(単位:億円)

	2014年度	2015年度(予想)	前年比増減 (伸び率)
売上高	6,605	7,000	395 (106.0%)
営業利益	361	400	39 (110.7%)
経常利益	382	420	38 (110.1%)
当期純利益	207	230	23 (111.1%)

2015年度 通期業績指標(予想)

(単位:億円)

	2014年度	2015年度(予想)	前年比増減 (伸び率)
有利子負債	1,549	1,741	+192 (112.4%)
自己資本	2,264	2,435	+172 (107.6%)
総資産	5,476	5,850	+374 (106.8%)

経常利益率	5.8%	6.0%
ROE	9.6%	9.8%
EPS	105.75円	117.43円
自己資本比率	41.3%	41.6%
ネットD/Eレシオ	0.58	0.63

設備投資	320	441
------	-----	-----

2015年度 セグメント別 売上高・経常利益(予想)



(単位:億円)

		2014年度		2015年度(予想)		前年比	
		実績	利益率	予想	利益率	増減	伸び率
産業ガス関連	売上高	2,031	-	2,040	-	+ 9	100.4%
	経常利益	127	6.3%	138	6.8%	+ 11	108.6%
ケミカル関連	売上高	1,026	-	1,090	-	+ 64	106.2%
	経常利益	25	2.5%	28	2.6%	+ 3	110.4%
医療関連	売上高	1,183	-	1,400	-	+ 217	118.3%
	経常利益	76	6.5%	100	7.1%	+ 24	131.0%
エネルギー関連	売上高	528	-	550	-	+ 22	104.1%
	経常利益	32	6.0%	35	6.4%	+ 3	110.2%
農業・食品関連	売上高	714	-	770	-	+ 56	107.9%
	経常利益	21	2.9%	27	3.5%	+ 6	128.2%
その他	売上高	1,122	-	1,150	-	+ 28	102.5%
	経常利益	80	7.1%	80	7.0%	+ 0	100.4%
(調整額)	経常利益	20	-	12	-	▲ 8	-
合計	売上高	6,605	-	7,000	-	+ 395	106.0%
	経常利益	382	5.8%	420	6.0%	+ 38	110.1%

*調整額：各セグメントに帰属しない一般管理費等

